

常に現場から！行動する頼れる男！

のざき正志通信

三条市議会議員

2011年の開幕にあたり、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨年、皆様よりの温かいご支援をいただいて2期目をスタートしました。のざき正志は、全力で三条市の安心・安全のまちづくりに取り組んでまいります。皆様のいちばん近くで動き働いてまいります。皆様の声をカタチに変えるために、しっかり働いてまいります。どうぞ、ご指導、ご鞭撻、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

皆様の声が届きました！！



注意喚起の看板が設置されました



カーブミラーが設置されました(嘉坪川地内)



國定市長へH23年度予算要望書を提出しました



街灯が設置されました(北入蔵地内)

- 三条市で子宮頸がんワクチンが中学2年生女子児童に公費助成されます。(平成23年2月1日より)
- ヒブ・小児用肺球菌ワクチンが生後2ヶ月から4歳児に公費助成されます。(平成23年2月1日より)
- 裏館第1雨水幹線事業が延長(110m)の補正予算が決まりました。(新光町・旭町地内)



公明党新潟県本部大会



のざき正志看板拭き



IT研修会に参加

12月定例会の野崎正志(公明)の一般質問(要旨) 平成22年12月13日6番目

問 野崎市議 ヒトT細胞白血病ウイルス1型の現状と対策について、妊婦検診時の抗体検査への周知や準備は進んでいるのか。相談体制や研修体制を確立し、きめ細かく対応すべきではないか。

答 市長 県と県医師会は12月1日付で契約を締結した。三条市でも医師会と協議するなど、実施に向け準備を進め、同日から実施する。この検査にかかる費用は既決予算で対応し、来年度も計上する。

教育部長 具体的な相談については、治療法が確立していない中、感染の予防が大切である。医療機関の対応が中心となるが、市としてもホームページで広報し、市民への周知を図って行きたい。

問 野崎市議 雇用対策の現状と見通しは、必要な事は地域で仕事を生み出すこと、どう考えるか。

答 経済部長 国の経済対策で緊急雇用における重点分野雇用創出事業が拡充され、各課で事業の検討を行っている。売れる物づくり、仕組みづくり支援事業などで開発意欲や新しい物づくりを推進し、雇用安定化事業補助金などの取り組みをトータルで進め、地域経済の活性化を図り、雇用につなげたい。

問 野崎市議 ゲリラ豪雨対策について、市街地における浸水被害を軽減するひとつとして防水板等の設置に対する工事に助成制度創設を検討できないか。

答 建設部長 防水板設置については、現在、上保内地区で布施谷川上流の浸水常習地域で自分財産は自分で守るスタンスで対策をしている。制度設計されている他市の状況を把握し、今後の検討課題としたい。

問 野崎市議 脳脊髄液減少症の教育現場における周知や対応はどうか。発病者はいたのか。

答 教育部長 頭部に係る事項はすべて医療機関に受診し、万全に対応するよう指示している。脳脊髄液減少症と思われる児童生徒の報告はない。



携帯用QRコード

のざき正志後援会

住所： 955-0057 三条市新光町8-4

TEL/FAX： 0256-35-2341

<http://www.komei.or.jp/km/sanjo-nozaki-masasi> (PC用)

どんな事でも、お気軽にご相談ください。